

これって、燃えないごみ?



分ければ資源ごみ!

■燃えないごみの分別試験実施
市では、皆様と協力して、ごみの減量化を実施してまいります。ごみ処理に係る費用を、少しでも抑えるためには、皆様の意識・行動・実践が不可欠となります。市では環境センターへのごみ搬入量を検証(下表参照)し、燃えないごみの収集分別を試験的に実施しました。

■分別試験の方法は?
下表のごみ搬入量を、岩瀬・大和・真壁地区に分けて燃えるごみ、燃えないごみの内訳を見ると、燃えるごみに

ついては、概ね人口比どおりの搬入実績でした。燃えないごみについては、岩瀬地区に對して、大和・真壁地区の搬入量が多い状況でした。そこで市では、ごみ委託収集事業者と連携を図り、7月分の燃えないごみで出されたごみを集約して、作業員による手作業での分別を行いました。



燃えないごみから分別した資源ごみを手作業で出す作業員

分別内容は、皆様が毎月一回資源ごみとして出しているものと同じ方法で、びん類・缶類を主に分別しました。

■分別試験の結果
手作業による分別作業の結果、本来資源ごみとして出されるべき、缶類・びん類が非常に多数含まれていることが検証されました。

・7月に大和・真壁地区で出

された燃えないごみの量 / 28,928 kg
分別した資源ごみの量と品目 / 8,578 kg、主に缶類・びん類
・リサイクル率 / 30%

■現状、そして課題!

自分位は(分別しなくても)よいだろう、他の人も分別してないし・・・といった考えでは、いつまで経ってもごみの減量化は達成できません。

今回は真壁・大和地区での試験でしたが、岩瀬地区でも同様な場合があります。

市内全域でごみ減量化が進まない場合、将来的には『ごみの有料化』の導入も検討しなければなりません。

そうならないために、もう一度、私達一人ひとりが、ごみの減量化に向けて、責任を持って実践しましょう!

■もう一度!見直そう!

空缶やびん類は、リサイクルすること、ごみの減量化に繋がり、その収集量に応じて、皆さんの行政区に報奨金として、還元されています。

■問合せ先/環境対策課(☎)
58-51111-75-3111、
内線2286)

平成 25 年度 筑西広域環境センターへのごみ搬出量 (単位: kg)

月	燃えるごみ				燃えないごみ			
	岩瀬地区	大和地区	真壁地区	計	岩瀬地区	大和地区	真壁地区	計
4月	404,210	107,120	321,110	832,440	16,280	8,130	24,560	48,970
5月	437,740	107,830	319,940	865,510	15,960	8,520	28,460	52,940
6月	380,440	99,780	286,210	766,430	13,520	11,430	33,060	58,010
7月	440,930	123,960	337,500	902,390	14,460	(※)20,350		34,810

(※)28,928kgの燃えないごみから分別した8,578kgの資源ごみを引いた量



28,928kgの燃えないごみから分別した8,578kgの資源ごみ

資格取得!

少子・高齢化が進展する現在、資格者として医療の分野で輝けるフィールドが大きく広がっています。当学院では、幅広い年齢層の生徒が共に学び、地域医療の最前線で活躍しています。社会人の方々も、数多くチャレンジしています。

地域医療に貢献する 准看護師

募集要項 領布中
入学相談・学院見学
随時受付中



真壁医師会准看護学院
☎0296-22-7702

筑西市二木成827-1(下館南中学校そば)
<http://www.m-ishikai.com/gakuin/>